

2023 年月 10 日

## 10 月 10 日は「赤ちゃんの日」 森永乳業 & 赤ちゃん本舗共同企画 「子育てあるある川柳」

入賞作品 10 句が決定  
～「大賞」は“あの”ベビーカーに乗った赤ちゃんあるある～

森永乳業株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:大貫 陽一 以下、森永乳業)と、株式会社赤ちゃん本舗(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:味志 謙司 以下、赤ちゃん本舗)は、共同企画として「子育てあるある川柳」を実施し、入賞作品 10 句が決定しましたのでお知らせいたします。

なお、2 社共同企画として子育てに関する川柳を募集するのは、初の試みになります。

2023 年 8 月 1 日から 8 月 20 日までアカチャンホンポ公式 SNS や店頭で募集し、全国から 600 句以上の“子育てあるある”が寄せられました。その後、9 月 6 日に大阪府内において選考会を開催し、森永乳業と赤ちゃん本舗の関係者が、1 句 1 句に目を通しながら厳正に選考を行い、大賞 1 名、入賞 5 名、森永賞 4 名の計 10 名を選ばせていただきました。

森永乳業のコーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」は「日々の生活や、家族や仲間との団らんを通じて、内面から自然とあふれてくる“笑顔”生み出していきたい」そんな想いを込めています。また、赤ちゃん本舗のコーポレートスローガン「スマイルな育児を。」は、「出産・子育てを応援し、家族みんなを笑顔にする新たな価値を創りたい」という想いが込められおり、子育てを“笑顔で楽しんでいただくこと”を支援する企業同士が共同で、育児中の「クスッと笑えたこと」、「あるあるだなあと感じたこと」など様々なエピソードの子育て川柳を募集する企画を立ち上げました。

なお、この取組みは、こども家庭庁が推進する“こどもまんなかアクション”のもと、“こどもまんなか応援サポーター”として連携し、お子さまや子育て中の方々を応援する企画になります。

入賞作品につきましては、赤ちゃん本舗のウェブサイトや店頭などでもお知らせします。



## 1. 入賞作品一覧

### <大賞>

ベビーカー 態度はまるで CEO (ちゅんすけ さん)

### <入賞>

すやすやと 眠るお口が 富士山だ (ちよ さん)

ママが好き 怒られた時は パパが好き (オスシニナリタイ さん)

寝かしつけ 気づけば自分が 先寝落ち (かなりん さん)

マネされて 初めて気付く 言葉遣い (そらはる さん)

パパ育休 取って家族の 絆増す (ぱんぱんだー さん)

### <森永賞>

七不思議 園では野菜 食べるキミ (ナカジマ さん)

子ども寝た 自分も寝てる 夢の中 (ぱぐ坊 さん)

上司より 呼び出し怖い 保育園 (さささささ さん)

連写して どれも愛しく ギガ不足 (あめ桜 さん)

## 2. 今回エントリーのあった「子育てあるある川柳」の傾向

今回、大賞に選ばれた作品はあまりにもよくある光景で、思わず笑ってしまい満場一致で決まりました。

どの句もとてもあたたかい気持ちにさせてくれるものばかりで、その場の映像がぱっと思い浮かぶものでした。

その中で、入賞や森永賞の決め手となったのは一読明快であり、句の中から子育ての現状が明確に想像でき思わず頷いてしまうという点でした。

## 3. こども家庭庁「こどもまんなかアクション」・「こどもまんなか応援サポーター」について

「こどもまんなかアクション」とは、こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援する、社会全体の意識改革を後押しする取組みです。

こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らも

アクションに取り組む個人、企業・団体、自治体を、「こどもまんなか応援サポーター」と呼んでいます。

#### 4. 特別企画

～赤ちゃん本舗 森永乳業営業担当者 対談～



森永乳業 関西支社 大阪支店 カスタマー営業3部  
渡邊 雄貴 (わたなべ ゆうき)

2008年入社以来、主に病産院を通じたヘルスケア商品の啓蒙を担当。  
2021年の大阪異動をきっかけに量販店や専門店などの販売業務に携わる。  
趣味は純喫茶で読書・美味しいわさびを刺身にのせて食べること・蹴球。



赤ちゃん本舗 顧客マーケティング部  
内田 一代 (うちだ かずよ)

2000年入社、店舗での販売を経験し、教育部門で接客での知識向上を目標に制度の整備を行う。2020年コロナ禍で、来店が難しい状況におけるオンラインを利用したコンテンツ制作と配信を統括し、現在も顧客コミュニケーション部でSNSやオンラインコンテンツ制作に携わる。  
趣味は人間観察。人に関わることが大好き。

\*敬称略

渡邊:10月10日の赤ちゃんの日に、共同企画「子育てあるある川柳」の情報を2社で発信できることを嬉しく思っています。赤ちゃん本舗さまのコーポレートメッセージである「スマイルな育児を。」と森永乳業の「かがやく“笑顔”のために」という2社のメッセージを具現化した企画ができればと考案ご提案し、受け入れていただいたことを感謝しています。

内田:10月10日赤ちゃんの日は、2010年に日本記念日協会に赤ちゃん本舗が申請し制定された記念日で、赤ちゃんの健やかな成長を祈り、「生まれてきてくれてありがとう」を伝える日です。今回、「子育てあるある川柳」を通じて子育ては大変ですが、その中にある楽しさを多くの人に知っていただき、今まさに子育て中の方に共感して心を和ませてもらうことができればと思います。

渡邊:今年の赤ちゃんの日のテーマは「つながる」とお聞きしました。もう少し詳しく教えていただけますか。

内田:はい。「つながる」を軸に、6つのテーマを設けて様々な企画を検討しています。

1つめは「家族とつながる」ですが、赤ちゃんが誕生すると、ママパパだけではなく、祖父母や親戚・お友達と縦にも横にも広くつながっていきます。家族のつながりを実感したり、共感できるイベントやプレゼントを赤ちゃんの日の企画としてご用意します。

一つ一つのご説明は割愛させていただきますが、「家族とつながる」に加えて、「出会いをつなげる」「共感をつなげる」「企業とつながる」「WEBでつながる」「お得をつなげる」の6つのテーマで企画を検討しています。

渡邊:すてきなテーマですね。応募作品の中にも家族とのつながりを感じられるほのぼのした作品や共感できる作品も多かったですね。

内田:そうですね。「子育てあるある川柳」を通してママ・パパだけではなく、祖父母の方にも子育てをしていた頃のことを思い出してもらえたら嬉しいです。

渡邊:これからもぜひ、「スマイルな育児を。」多くの方ができるように一緒に取り組ませてください。